

2021年12月期 第2四半期 決算補足説明資料

井関農機株式会社

2021年8月6日

1. 2021年12月期第2四半期 業績の概要
2. 2021年12月期 業績予想

1. 2021年12月期第2四半期 業績の概要

第2四半期決算のポイント



<第2四半期業績>

前年同期比大幅増収増益

(業績内訳)

- 国内 : 消費増税反動減からの回復
経営継続補助金などに伴う需要喚起
- 海外 : 北米、欧州はライフスタイルの変化に伴う需要拡大による販売増加
アジアは前期末タイの販売代理店を連結子会社化した影響や
中国向け販売増加
- 収益 : 増収による売上総利益の増加

<通期業績予想>

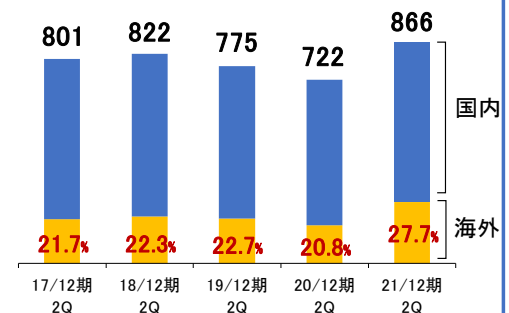
当初連結業績予想から変更なし

(下期リスク)

- ・国内は経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動や米価低下懸念による購買意欲減退
- ・新型コロナウイルス感染症影響に伴うサプライチェーンの混乱
- ・原材料価格の高騰と高止まり

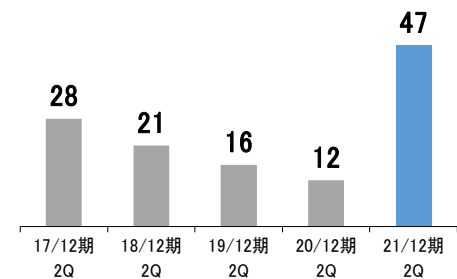
売上高推移(第2四半期累計)

(単位:億円)



営業利益推移(第2四半期累計)

(単位:億円)



		前年同期 (20/12期 第2四半期)	当期 (21/12期 第2四半期)
国内		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 消費増税反動減 ✓ 新型コロナウイルス感染による営業活動自粛 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 消費増税反動減からの回復 ✓ 営業活動自粛が前年同期比では緩和 ✓ 経営継続補助金などに伴う需要喚起
	北米	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 巣ごもり特需により需要は堅調 ✓ 部品入荷遅れによるトラクタの減少(当社一過性要因) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフスタイルの変化による需要拡大 ✓ 海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残発生
海外	欧州	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ロックダウンにより現地小売店舗が一時閉鎖⇒当社出荷調整 ✓ 5月以降段階的に店舗営業再開し一部回復 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフスタイルの変化によりコンシューマー向け需要は堅調 ✓ 現地代理店はエッセンシャル・リテールとして営業を継続 ✓ ワクチン接種が進み営業活動は徐々に平常化
	アジア	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国 <ul style="list-style-type: none"> ・食糧確保政策や移動制限により農機需要喚起 ✓ アセアン(タイ) <ul style="list-style-type: none"> ・農作物生産量の減少や作物価格の低迷により、購買マインド低調 ✓ 韓国 <ul style="list-style-type: none"> ・行動制限による影響はあるも、大型農機需要継続 ✓ 台湾 <ul style="list-style-type: none"> ・大型農機購入補助金施行 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国 <ul style="list-style-type: none"> ・食糧確保政策継続や穀物価格の安定等により市場好調継続 ✓ アセアン(タイ) <ul style="list-style-type: none"> ・農作物生産量と作物価格が昨年より回復し、農機需要も回復基調 ✓ 韓国 <ul style="list-style-type: none"> ・大型農機需要継続 ✓ 台湾 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金反動減

連結業績の概要

ISEKI

(2021年1月1日～2021年6月30日)

(単位:億円、%)

	19/12期		20/12期		21/12期		前年同期比
	2Q実績	比率	2Q実績	比率	2Q実績	比率	
売上高	775	100.0	722	100.0	866	100.0	+ 144
(国内)	599	77.3	572	79.2	626	72.3	+ 53
(海外)	175	22.7	149	20.8	240	27.7	+ 90
営業利益	16	2.1	12	1.8	47	5.4	+ 34
経常利益	8	1.1	10	1.5	55	6.4	+ 44
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	0.9	9	1.4	41	4.8	+ 31
為替平均 レート (円)	米ドル	110.7	108.5	106.8	△1.7		
	ユーロ	125.7	119.7	129.1	+9.4		

国内売上高

ISEKI

前年同期比
+53億円

農機製品・作業機は消費増税反動減からの回復や経営継続補助金などに伴う需要喚起もあり国内売上全体では増収

(単位:億円)		19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	前年同期比	
						備考
農機 製品 関連	整地機	151	133	147	+ 13	トラクタ: +10
	栽培機	61	55	64	+ 9	田植機: +4
	収穫調製機	53	43	48	+ 5	コンバイン: +4
	小計	266	231	259	+ 27	
	作業機	119	106	135	+ 28	
	部品	68	71	72	+ 1	
	修理収入	26	27	28	+ 0	
	小計	214	206	236	+ 30	
	計	481	438	496	+ 58	
	施設工事	13	30	19	△ 11	
その他農業関連	104	103	110	+ 6		
合計	599	572	626	+ 53		

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品・作業機は消費増税反動減からの回復や経営継続補助金などに伴う需要喚起もあり増収
- ✓ 新型コロナウイルス影響により展示会中止や規模縮小などの影響を受けたが前年同期比では緩和
- ✓ 部品売上、修理収入は引続き堅調に推移
- ✓ 施設工事は大型物件の受注・完工が減少
- ✓ 国内売上全体は、前々年対比でも大幅増収

海外売上高

前年同期比
+90億円

北米・欧州はライフスタイルの変化に伴う需要拡大により販売増加
アジアはタイ販売代理店連結子会社化(前期末)や中国向け増加等により増収

(単位:億円)	19/12期	20/12期	21/12期	前年同期比	
	2Q実績	2Q実績	2Q実績		備考
北米	66	50	78	+ 28	トラクタ: +28
欧州	73	64	108	+ 44	トラクタ: +12 芝刈機: +21
アジア	33	34	51	+ 17	トラクタ: +10 田植機: +4
その他	2	1	2	+ 0	
連結売上高合計	175	149	240	+ 90	

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 北米 : 好調なコンパクトトラクタ市場を背景に増収
海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残発生
- ✓ 欧州 : ライフスタイルの変化によるコンシューマー向けを中心とした好調な販売に加え、為替円安影響により増収
海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残発生
- ✓ アジア : 前期末タイの販売代理店を連結子会社化した影響、フィリピン向け入札関連や中国向け半製品の出荷増により増収

営業利益

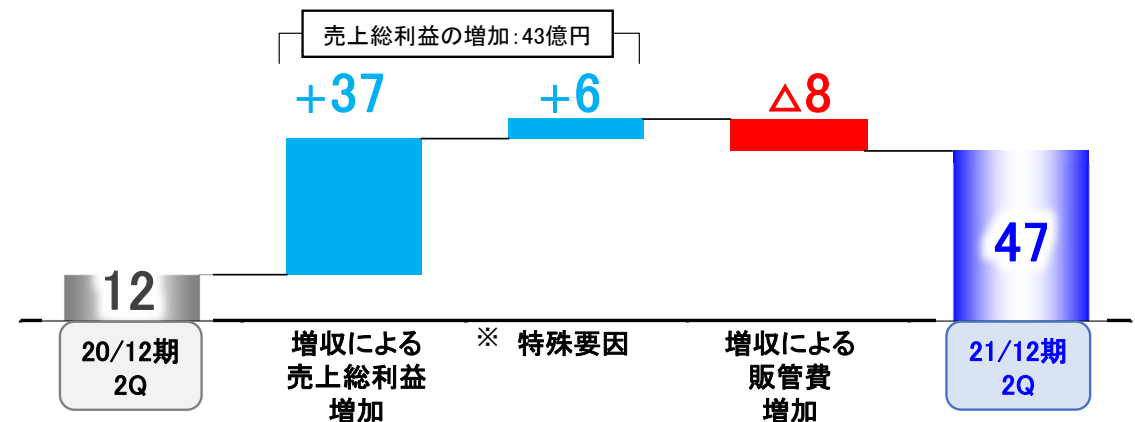
前年同期比
+34億円

増収による売上総利益の増加に加え、前期に計上があった部品在庫評価損の剥落など特殊要因もあり増益

(単位: 億円、%)

	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	前年同期比
売上高	775	722	866	+ 144
売上総利益	225	214	257	+ 43
売上総利益率	29.1%	29.7%	29.8%	+ 0.1%
販管費	208	201	210	+ 8
人件費	122	120	123	+ 3
その他経費	86	81	87	+ 5
営業利益	16	12	47	+ 34

【営業利益増減内訳(前年同期比)】



※特殊要因

- ・前期に計上があった部品在庫評価損の剥落 +3
- ・前期減損損失計上に伴う減価償却費の減少 +3

【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+7	Δ4	Δ1	+2

経常利益、四半期純利益

経常利益
前年同期比
+44億円

為替差損益や持分法投資損益の好転に加え、一過性の営業外収益計上等により増益

(単位:億円)

	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	前年同期比
営業利益	16	12	47	+ 34
金融収支	△3	△3	△3	△ 0
その他営業外損益	△4	1	11	+ 9
経常利益	8	10	55	+ 44
特別利益	1	6	0	△ 6
特別損失	△1	△1	△1	+ 0
税前利益	7	16	54	+ 38
税、税調整額	△1	△6	△12	△ 6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	9	41	+ 31

営業外損益増減内訳(前年同期比)

為替差損益	+3億円
持分法投資損益	+2億円
受取和解金	+4億円

・ご参考)持分法関連

(単位:億円)

	20/12期 2Q実績	21/12期 2Q実績	増減
持分法投資損益 (営業外)	△1.8	0.3	+2.1
持分変動損益 (特別)	6.5	-	△6.5

※持分法適用会社 前期:東風井関、IST 2社
当期:東風井関 1社

2. 2021年12月期 業績予想

連結業績予想の前提

＜事業環境想定＞

- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大は残るもののワクチン接種率増加に伴い、期末には緩和
- ✓ 経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動や米価低下懸念による購買意欲減退
- ✓ 原材料価格の高騰と高止まり

第3四半期以降の見通し

国内	<ul style="list-style-type: none">✓ 経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動✓ 米価低下懸念による購買意欲減退
海外	<ul style="list-style-type: none">✓ 北米、欧州の好調な受注継続✓ 新型コロナウイルス感染症影響に伴うサプライチェーンの混乱による未出荷などの受注残拡大
コスト面	<ul style="list-style-type: none">✓ 原材料価格の高騰と高止まり

2021年12月期 連結業績予想

ISEKI

連結業績予想

下期にかけてのリスク要因織り込み、当初連結業績予想から変更なし

(単位:億円)	19/12期		20/12期		※ 21/12期		前期比
	実績	比率	実績	比率	予想	比率	
売上高	1,498	100.0	1,493	100.0	1,535	100.0	+ 41
(国内)	1,177	78.5	1,159	77.6	1,179	76.8	+ 19
(海外)	321	21.5	333	22.4	356	23.2	+ 22
営業利益	27	1.8	20	1.4	36	2.3	+ 15
経常利益	11	0.7	17	1.1	35	2.3	+ 17
親会社株主に帰属する 当期純利益	7	0.5	△56	-	24	1.6	+ 80
為替平均レート (円)	米ドル	109.3	107.0		105.0		△2.0
	ユーロ	121.6	121.5		123.0		+1.5

※21/12期予想:2021年2月15日公表予想

将来の見通しに関する記述についての注意

ISEKI

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。